

ひきこもりに至るまでの要因と自分なりの生き方を見つけるまで

一人のひきこもり経験者が語る

内容

今年度の家族会では、一人のひきこもり経験談を出生から現在に至るまでを 24 回に分けて、時系列に沿ってお話し致します。内容は、どんな出来事があり、どう思って、それらの背景の分析を含みながら詳細に語ります。ひきこもりは多種多様ですが、今も困難に直面している当事者の方や家族の方の「どう理解すればいいのか」「どう関われば良いのか」「どうあればいいのか」という模索の一つの材料となればと願いお話し致します。

講話内容(予定)

- 4月 9日〈1 回目〉⇒ ひきこもりの「問題」はどこにある？
- 4月14日〈2 回目〉⇒ 演者の不登校になった要因について(小学生時代)
- 5月 7日〈3 回目〉⇒ 演者の不登校の時の状況や感じていたこと
- 5月12日〈4 回目〉⇒ 小学から中学へ進学する時の話し 努力という名の無理をして破綻
- 6月 4日〈5 回目〉⇒ 2 度目の不登校の時の深刻さと社会からの排除・孤独感
- 6月 9日〈6 回目〉⇒ 完全不登校状態で学校の外でのいくつかの居場所について
- 7月 9日〈7 回目〉⇒ 学校外の居場所での様々な人との出会いと自分への影響について
- 7月14日〈8 回目〉⇒ 完全不登校から、高校へ進学し通学出来るに至った道について
- 8月 6日〈9 回目〉⇒ 困難の連続だった高校生生活をどう乗り越えてきたかについて
- 8月11日〈10 回目〉⇒ 高卒後の行き場の無さからひきこもりが始まってしまった事について
- 9月 3日〈11 回目〉⇒ ひきこもり生活のおおまかな流れを、10 期の時期に分類してお話し
- 9月 8日〈12 回目〉⇒ 成長発達に漫画やゲームが果たした意味や仮想世界での生活について
- 10月 8日〈13 回目〉⇒ ひきこもり生活の大半であった仮想世界での様々なエピソードや意義
- 10月13日〈14 回目〉⇒ ひきこもり生活の変化を居場所の拡大から語る
- 11月 5日〈15 回目〉⇒ 作業所通所へつながった要因を語る
- 11月10日〈16 回目〉⇒ 作業所での生活実態と場面緘黙から声を取り戻すまでの流れ
- 12月 3日〈17 回目〉⇒ 大学進学に当たっての経済的な壁と不可能な入学を果たせた要因など
- 12月 8日〈18 回目〉⇒ 大学生活の中での独特な大変さと孤立感、そして相談への経緯
- 1月 7日〈19 回目〉⇒ 恩師との出会いによる様々な支えと飛躍の基盤について
- 1月12日〈20 回目〉⇒ 講師活動の広がりや当時の思い、そして自己教育という試みについて
- 2月 4日〈21 回目〉⇒ 大学での人間関係の実際と、就職活動という大きな壁
- 2月 9日〈22 回目〉⇒ 「普通外？」な就職活動の惑いについて
- 3月 4日〈23 回目〉⇒ 障害者枠就労への葛藤
- 3月 9日〈24 回目〉⇒ 社会人生活での過剰適応問題

●お問い合わせ先 : NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

◎ 電話番号 : 090-3890-7048 ◎ e-mail : info★letter-post.com @に変わる